

『東山植物園所蔵品でたどる伊藤圭介の業績』展

会期 : 平成21年12月15日(火)～27日(日)

会場 : 名古屋市千種図書館1階 展示コーナー



名古屋が生んだ偉人 伊藤圭介

名古屋呉服町(現中区)に町医者の子として生まれ、家業の医学だけでなく蘭学や本草学を学び、長崎に遊学しシーボルトに教えを受けた。江戸末期から明治時代の医学、本草学、植物学の分野で日本を代表する人物で、わが国第1号の理学博士。

伊藤圭介の主な業績(展示資料より)

- ★『泰西本草名疏』 圭介が長崎に遊学した際、シーボルトから譲り受けたツェンペリーの『フロラ・ヤポニカ(日本植物誌)』を訳述したもので、圭介の最大の功績のひとつ。



- ★『錦窠植物図説』 圭介による植物研究の膨大な資料集で、写生図や印葉図、解説文などが集められている。木が対象で科ごとにまとめられている。展示のものは『櫻譜』の序と櫻の図。

- ★「アザラシの図」 天保4年(1833)、名古屋の熱田前の新田の海で捕獲された珍獣の図。この図は、平成20年1月に圭介の子孫の伊藤俊夫氏から寄贈されたもので、「永世保存 錦窠物産庫 禁出門外」の朱印が押してある貴重な遺品のひとつ。



東山植物園 伊藤圭介記念室収蔵品

伊藤圭介の遺品は、昭和26年、圭介の孫で岐阜県高等農林学校教授であった伊藤秀雄氏の子息、伊藤宏氏により寄贈され、昭和43年『伊藤圭介翁遺品調査・鑑定報告書』としてまとめられた。昭和55年、東山植物園の植物会館内に伊藤圭介記念室が完成し常設展示が行なわれるようになった。昭和58年からは遺品の本格的な補修が始まり、平成4年に『伊藤圭介記念室蔵書・蔵品目録』が刊行。

圭介の遺品は、国立国会図書館をはじめ、名古屋大学や名古屋市鶴舞中央図書館、蓬左文庫などに所蔵されているが、東山植物園の所蔵品の特徴は240冊に及び日記などの私文書にある。この日記は、圭介研究者の集まりである「圭介文書研究会」によって、解読作業が続けられ、毎年1回『伊藤圭介日記』として出版し、現在15集に及んでいる。

東山植物園が所蔵している圭介関係資料は、平成7年3月22日に名古屋市有形文化財として1017点が指定され、その後に伊藤宏氏より追加寄贈された資料300点が平成14年4月17日に追加指定された。この平成21年5月には、ご子孫伊藤昭氏、伊藤俊夫氏をはじめ多くの方々より寄贈された資料を対象に309点が追加指定され、現在1626点もの伊藤圭介関係資料が名古屋市有形文化財に指定、伊藤圭介記念室にて保存・展示されている。



「東山植物園所蔵品でたどる伊藤圭介の業績」企画展示圭介関連図書

千種図書館の伊藤圭介企画展示は、昨年『伊藤圭介～名古屋市図書館所蔵資料より～』に続き2回目。
東山植物園所蔵の『泰西本草名疏』や、所蔵品の画像、解説を圭介の業績をたどりながら展示。
展示品および展示資料の解説等は、植物園技師・三浦重徳氏の多大なるご協力をいただきました。
展示の流れにそって関連図書をリストアップしました。貸出可能ですのでご利用ください。

1 総説

書名	著者名	出版社	出版年	所蔵館
伊藤圭介 新装版 (人物叢書)	杉本勲／著	吉川弘文館	1988	鶴中央・千種ほか
日本初の理学博士伊藤圭介の研究	土井康弘／著	皓星社	2005. 11	鶴中央
伊藤圭介の生涯とその業績 : 生誕200年記念		名古屋市東山植物園	2003. 10	鶴中央・千種ほか
伊藤圭介日記 第1集～15集	伊藤圭介／[著] 圭介文書研究会／編	名古屋市東山植物園	1995.2 ～2009.1	鶴中央・千種ほか
理学博士・男爵伊藤圭介翁遺品調査・鑑定報告書	名古屋市東山植物園／編	名古屋市東山植物園	1968	鶴中央

2 本草学者、植物学者として

伊藤圭介と尾張本草学 : 特別展	名古屋市博物館／ 編	名古屋市博物館	2001. 09	鶴中央・千種ほか
日本産物志	伊藤圭介／著	青史社	1978	鶴中央
名古屋叢書三編 第19巻 泰西本草名疏ほか		名古屋市教育委員会	1982. 11	鶴中央・千種ほか
錦窠図譜の世界: 幕末・明治の博物誌	名古屋大学附属図書館／編	名古屋大学附属図書館	2003. 10	鶴中央ほか
シーボルトと伊藤圭介展		名古屋市東山植物園	1996. 09	千種
日本自然誌の成立 蘭学と本草学	木村陽二郎／著	中央公論社	1974	鶴中央
日本植物誌 : シーボルト『フローラ・ヤポニカ』	シーボルト／ 「著」	八坂書房	2000. 12	鶴中央
江戸の植物学	大場秀章／著	東京大学出版会	1997. 1	鶴中央

3 洋学者として

名古屋叢書 第13巻 科学編 (硝石編ほか)		名古屋市教育委員会	1963	鶴中央・千種ほか
------------------------	--	-----------	------	----------

4 医師として

人物・近世エレクトル文化史	田村栄太郎／著	雄山閣出版	1985	鶴中央
エレクトルの魅力	東徹／著	裳華房	2007. 3	鶴中央
解体新書の時代 江戸の翻訳文化をさぐる	杉本つとむ／著	早稲田大学出版部	1987	鶴中央

同時開催 *** 今回の展示に合わせて、講演会を企画しています。***

『東山植物園所蔵品でたどる伊藤圭介』

講師：三浦重徳 氏 (東山植物園 指導園芸係技師)

日時：平成21年12月17日 (木) 午後1:30～3:00

会場：千種図書館1階 集会室

2009年12月

名古屋市千種図書館：名古屋市千種区田代町瓶杵1-137
Tel: 781-7431 Fax: 781-7447